

■三上参次 歴史学者。国学や漢学の一分野にすぎなかった国史学を独立させた。

みかみさんじ

薩摩藩士密航1865＝ 播磨国神東郡御立村(兵庫県姫路市船津町御立)で、幸田貞助の三男に生まれた。

明治維新・・1868＝ 3歳：
幼時に姫路藩士三上勝明の養子となり、

明治6年政変 1873＝ 8歳：
佐賀の乱・・1874＝ 9歳：

西南戦争・・1877＝12歳： 姫路県立模範小学校を卒業、

・・・・・1880＝15歳： 兵庫県公立姫路中学校本科第一級を卒業した。

明治14年政変1881＝16歳： 上京し、東京大学予備門を経て、

岩倉具視没・1883＝18歳：

内閣発足・・1885＝20歳： 東京大学文科大学和文科に入学し、

帝国憲法発布1889＝24歳： 卒業と同時に、国史研究のため大学院に進む。

帝国議会始・1890＝25歳： 「日本文学史」(高津楯二郎と共著)、

大津事件・・1891＝26歳： 「白河楽翁公と徳川時代」。文科大学史学講義を命ぜられ、はじめて大学の教壇に立つ。

大本教・・・1892＝27歳： 「にほんれきし」。*文科大学助教授に任ぜられると、それまでは国史が国学や漢学の一分野にすぎなかったものを、まず国史学に位置づけ、さらに国史学科として独立すべきことを首唱。

日清戦争始・1894＝29歳：

日清戦争終・1895＝30歳： *文科大学内に史料編纂掛が設置されると、史料編纂委員を命ぜられた。

Bushidou・・1899＝34歳： 文科大学教授に昇任し、文学博士の学位を授けられる。

田中正造直訴1901＝36歳：

教科書疑獄・1902＝37歳： ハンブルグで開かれた東洋学会会議に日本の委員として列席。

日露戦争終・1905＝40歳： 史料編纂掛事務主任(現在の所長)となる。編纂掛内に多数の逸材を集め、

アヲヲ 創刊・1908＝43歳： 帝国学士院会員となる。

韓国併合・・1910＝45歳：

明治天皇没・1912＝47歳：

第一次大戦始1914＝49歳： 「社寺領性質の研究」(辻善之助・芝葛盛共著)、

「大日本史料」「大日本古文書」の編纂事業の基礎を築き、その刊行を推進して、

ベルリン条約・1919＝54歳： 辞任した。

原敬首相暗殺1921＝56歳： 文学部長を経て、

円本時代始・1926＝61歳： *停年により退官し、東京帝国大学名誉教授。臨時帝室編修官長に就任、「明治天皇御紀」の編修を主裁し、

共産党事件・1928＝63歳：

満州事変・・1931＝66歳：

五一五事件・1932＝67歳： 帝国学士院会員により貴族院議員に互選される。

国際連盟脱退1933＝68歳： 260巻を完成。

帝人疑獄事件1934＝69歳： ひき続き公刊明治天皇御紀編修長に任ぜられ、

日中戦争始・1937＝72歳：

第二次大戦始1939＝74歳： *大体の完成をみたが、その直後、東京市小石川区林町(文京区千石)の自宅で、肝臓膿瘍のため没した。この間、国学院大学に出講し、史学会会長を務め、公職では国語調査会・古寺社保存会・維新史料編纂会・史蹟名勝天然記念物調査会・神武天皇聖蹟調査委員会など多数の委員・会長を歴任。没後大著「江戸時代史」が出版された。